



吉 原

教育目標

「夢」に向かい、根気よく努力する子どもの育成

舞鶴市立吉原小学校
学校だより
8 月 号
令和 6 年 8 月 29 日



令和 6 年度 2 学期のスタート



今年の夏も記録的な猛暑でした。夏休みに入ってから、京都府に発表された熱中症警戒アラートの発表回数を調べてみるとなんと23回もあり、(7/20~8/27現在)災害級の暑さとはよく言ったものです。そんな中でも、夏季休業中の地域プールにたくさんの子どもたちが参加してくれました。日に日に真っ黒になる子どもたちの姿を見て、たくましさも感じつつ、熱中症にならないようにと心配する思いが混じり合っていました。また、PTAの皆様には、暑い中でのプールの準備や監視など大変お世話になりました。さらに 8 月 24 日の環境整備作業でもご協力いただきました。ありがとうございました。



水無月神社の神輿の様子

この夏休みの間、地域へと出向かせていただきました。早朝にも関わらずラジオ体操には、保護者の方々だけでなく、地域の方や卒業生も参加してくださっていました。水無月神社のお祭りでの子ども神輿や、吉原の万燈籠も拝見し、吉原地域の伝統文化に触れる中で、地域行事・文化の素晴らしさを改めて実感させていただきました。そういった行事を通して、地域の方がしっかりと子どもたちを見守ってくださっていると感じました。本当にありがたく思っております。

さて、今年の夏は国際的な大きなイベントがありました。パリ五輪です。各競技では日本代表選手が活躍し、連日メダル獲得のニュースが届いていました。メダルを獲得した選手のインタビューを聞いていますと、それまでの血のにじむような努力や周囲の期待に応えなければならないプレッシャー、支えてくれた人々への感謝の思いなど、様々な思いがあったことを語っていました。その中でも、心に残った言葉があります。競泳の池江璃花子選手のレース後のインタビューです。「人って悔しさを経験しないと成長できないと思う。今はそう思うしかない。」池江選手は残念ながら100mバタフライで準決勝敗退に終わりました。大病を克服し、周囲の期待もあった中での敗退は相当なショックがあったと想像できます。それでも、前を向こうとする姿に心を動かされました。2学期は運動会をはじめ、たくさんの行事があります。もちろん学習も難しくなっていきます。もしかしたら子どもたちにとって、努力したことが結果に出ないこともあるかもしれませんが、それでも、その悔しさをバネに少しでも成長してほしいと思います。そういう子どもたちを教職員全員で励まし、支えていこうと思います。1年でもっとも長い2学期ですが、保護者の皆様、地域の皆様ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

校長 弓下 伸二
教職員 一同